

新連携対策補助金

「対星」と「真人」の案件採択

九州経済産業局

九州経済産業局は25日、平成19年度新連携対策補助金(事業化・市場化支援事業〈第2期〉)および連携体構築支援事業)の採択案件を公表した。本県から採択されたのは、(株)対星と(有)テクノコム

ム・長崎県中小企業団体中央会、(株)真人と島原産業(株)・長崎県とび土工工業協同組合。

本補助金は、事業分野を異にする中小企業者が有機的に連携し、その経営資源を有効に組み合わせ、新事業活動を行う事業および新たな事業活動を行う連携体を構築するための事業を補助することにより、中小企業の新たな事業活

動の促進を図ることが目的。

今回採択されたのは、事業化・市場化支援事業〈第2期〉が8件、連携体構築支援事業が5件。本県関係採択分は連携体構築支援事業。

(株)対星と(株)真人の申請内容は左の表参照。

申請者	連携参加者	テーマ
(株)対星	(有)テクノコム・長崎県中小企業団体中央会	一般廃棄物より排出される溶りたび及び全国展開の連携体構築 融スラグを50%含有した、および サイクル舗装材の製造の全国展開 施工管理アドバースの連携体構築 に向けての連携体構築
(株)真人	島原産業(株)・長崎県とび土工工業協同組合	バイオマス利用による廃石膏の事業体 サイクルシステムの事業体構築